

結

あなたはオオカミです。

あなたが噛み殺せないのは、同じオオカミだけ。
そして、それは反対も同じこと。

「……ふふ」

あなたは出会えたのです。あなたと同じ生き物に。

すべてが終わったあと、あなたは新顔／ラウルへ声を掛けました。
風がやんで、からころと鳴っていた処刑台の鐘は静かです。

「ねえねえ、やっとはじめましてが言えるね！」

吊られた新顔／ラウルは、何も言ってはくれません。
それでもいいのです。

あなたは、新顔／ラウルに心からの祝福を贈ります。
それってなんだか、とっても人間のようだと思いましたので。

「きみが生まれてきてくれて嬉しいよ！」

「またいつか会えたら、一緒に獲物を狩ろうね」

+++++

END-S-5s：『祝祭の獣』